

日清食品カップ 第40回全国小学生陸上競技交流大会

監督・競技者注意事項

1. 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟規則ならびに大会要項に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮し、特に教育的配慮のもとに進行する。
2. 監督会議は9月13日（金）17時より、オンライン会議で行う。詳細については、別途案内する。
3. 開会式は9月22日（日）9時30分から行う。選手団は9時20分（厳守）までに100mスタート後方、ゲート1の都道府県指定場所に集合し、開会式に参加する。なお、男子コンバインドA、女子コンバインドA、女子コンバインドB、男女混合4×100mリレーに出場する競技者は、ウォーミングアップを行う時間帯のため、開会式への出席を控える。

※開会式への参加は、男子コンバインドB、友好レース100m（男女）、5年100m（男女）、6年100m（男女）の7名（友好レースの参加者がいない場合は5名または6名）、指導者（監督・コーチ・支援コーチ）2名とする。

4. 表彰について

- ① 表彰については全種目8位まで行い、賞状授与はB・C決勝入賞者、コンバインドは24位まで行う。
 - 1) 100m、4×100mリレーのA決勝の入賞者には賞状と副賞、B・C決勝の入賞者には賞状、その他の出場者（友好レース100mを含む）には記録証を授与する。
なお、A・B・C決勝の入賞外（DNS/DNF/失格）の選手・チームについては予選時の記録証を授与する。
 - 2) コンバインドA・Bの8位までの入賞者には賞状と副賞、9位から24位までの入賞者には賞状、DNS/DNF/失格等を除く、その他の出場者には記録証を授与する。※詳細のルールは下記「10. コンバインド種目」を参照する。
- ② 8位までの入賞者の表彰時の服装は、Tシャツまたはジャージ（下はハーフパンツ等も可）を着用する。なお、表彰用のアスリートビブス（シールタイプ）を控え場所で配付するので、入賞者は前面に着用する。
※盗撮・迷惑撮影防止の観点から競技用ユニフォームは着用しない。
- ③ 8位までの入賞者は競技終了後、大会関係者が入賞者待機場所へ誘導する。
- ④ 表彰式終了後は、大会関係者が入賞者を1階コンコース107ブロック付近、入賞者出口へ誘導し、そこで解散とする。
- ⑤ 9位以下（B・C決勝、およびコンバインド24位まで）の賞状および記録証は、各県毎にまとめて渡す。配付については、後述（「18. その他 ⑤」）の通りとする。

5. アスリートビブスについて

- ① アスリートビブスの表記は、都道府県番号とする。
- ② アスリートビブスは支給されたままの大きさをユニフォームの胸と背につける。（全種目とも、胸・背の両方につける。）
- ③ 友好レースに出場する競技者のアスリートビブスは、男子「都道府県番号-5」、女子「都道府県番号-6」とする。
- ④ アスリートビブスの色は以下の通りとする。

布地の色： 白 100m（5年、6年）

	水色	コンバインドA
	ピンク	コンバインドB
	黄色	4×100mリレー
数字の色：	黒	男子
	赤	女子

6. 男女混合 4×100mリレーのオーダー用紙提出について

- ① オーダー及び友好レースについては、出場競技者名を所定の用紙に記入し、9月21日（土）の国立競技場Eゲート（外苑門）での選手団受付時に提出する。
リレーについては予選及び決勝とも、この時に提出したオーダーで競技を行い、予選と決勝でメンバーや走順の変更はできない。
なお、決勝の際に改めてリレーのオーダー用紙を提出する必要はない。
- ② ケガなどにより、やむを得ず提出したオーダーに変更が生じる場合、医師の診断を受け、大会本部が認めた場合に限り友好レース出場者から男女混合リレーに出場する競技者を変更できる。
※走順の変更はできない。（変更者の入れ替えのみ可）
※オーダー変更については、予選は大会当日の予選1組目の招集完了時刻の60分前までに、決勝はC決勝の招集完了時刻の60分前までに、所定の用紙にてTICに提出する。

7. 競技者の招集について

- ① 招集所は下記の通りとする。
 - 1) 100m及びコンバインド種目の招集所はゲート5に設置する。
 - 2) 4×100mリレーの招集所はゲート1に設置する。
- ② 招集は競技日程に記載の招集開始時刻～招集完了時刻の間に確実に完了する。
※招集完了時刻に間に合わない場合は、欠場とみなすので十分に注意すること。
- ③ 招集所には、競技に出られる服装（アスリートビブスを付けた状態）で集合する。
- ④ リレー出場の競技者は走順に「都道府県番号-1～4」の追番のついたアスリートビブスを付けて集合する。
- ⑤ トラック競技は、招集所で腰ナンバーを受け取り、右腰のやや後方に付ける。
※リレーは第4走者のみ。
- ⑥ コンバインド競技（混成競技）の2種目目についても同様にゲート5に設置された招集所で招集を行う。招集時間は競技日程に記載の通りとする。
※コンバインド出場者は、1種目目終了後、選手団エリアに戻り、2種目目の招集時間までに再度集合する。なお、コンバインド種目に限り選手はコンバインド控室内に待機することができる。また、指導者はコンバインド控室で選手へ指示や指導を行うことができる。但し他の競技者や競技運営の都合上その他の理由により、主催者または競技役員が指示や指導の場所を制限する場合がある。
※コンバインド控室で、指導者は混成競技者の指示に従う。
※コンバインド控室は、選手の滞在時以外で荷物を置いておくことはできない。
※コンバインド控室での、水分補給は可とする。但し食事は不可とする。
※昼食や休憩時間は、コンバインド控室に滞在することはできない。
- ⑦ コンバインド競技に出場する競技者は、混成競技係の指示に従う。

8. 競技用靴

競技に際してはシューズ又はオールウェザー用のスパイクを使用すること。スパイクのピンは全種目 9mm を超えないものとする。また、靴底の厚さについては、「競技用靴に関する規定」を適用しない。

9. トラック競技

- ① 組・レーン順はプログラムに記載のとおりとする。
- ② 100m (5年・6年)、4×100mリレーは、予選をタイムレースで行い、A決勝を予選上位8番までの競技者、B決勝を予選9番～16番までの競技者、C決勝を予選17番～24番までの競技者とする。決勝ボーダーライン上で1000分の1まで同タイムが出た場合、指導者による抽選を行う。
- ③ スタートはクラウチングスタートを原則とする。スターティングブロックの使用は任意とする。
- ④ スターティングブロックは競技場に備え付けのものを使用する。
- ⑤ 同じ競技者が2回不正スタートをした場合、その競技者は失格とし、オープン参加として走る。
- ⑥ 危険防止のため、各走者はフィニッシュ後も自分のレーンを走り減速する。
- ⑦ 80mハードルは、男女ともにハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。
- ⑧ リレー競技(男女混合4×100mリレー)は男女各2名から編成され、男女の走順は自由とする。(補欠についても男女各1名ずつとする。)
- ⑨ リレー競技のバトンは競技場に備え付けのもの、マーカーは主催者で用意したものを、出発係から受け取り使用する。
- ⑩ リレー競技におけるテイク・オーバー・ゾーンは30mとし、テイク・オーバー・ゾーンの中からスタートする。
- ⑪ リレー競技に出場する競技者のユニフォームは原則としてチームの全競技者とも同一デザインとする。ただし、ユニフォームのタイプや男女による型の違い等は認めるものとする。
- ⑫ リレー競技のエントリー者のうち、リレー競技に出場しない競技者は友好レース(男女別・100m)に出場できる。その際のナンバーカードについては上記「5. アスリートビブス ③」の通りとする。
- ⑬ リレー競技では、レース終了後に次走者がつけたマーカーを前走者が必ず回収する。

10. フィールド競技

- ① 試技順はプログラムに記載のとおりとする。
- ② 走高跳
 - 1) 1・2組に分かれ、第1曲走路側(Aゾーン)に並んで設けられたA(1組)・B(2組)ピットの2カ所で行う。
 - 2) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとし、背や腰などからの着地は無効試技とする。判定は競技役員に従う。
 - 3) 走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。
 - 4) 最初の試技の高さは、ピット内にて練習時に競技役員に申告する。
 - 5) 最初の試技を行った後のパスについては、その都度、競技役員へ申告する。
 - 6) バーの上げ方は次のとおりとする。

男子	1m00(練習)	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	以降3cmずつ
女子	1m00(練習)	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	以降3cmずつ

③ 走幅跳

1) 1・2組に分かれ、A(1組)・B(2組)ピットで行う。(Aピット：トラック側・Bピット：スタンド側) ※バックストレート側のピットを使用する。

2) 全員2回の試技とする。

④ ジャベリックボール投

1) 第2曲走路側(Bゾーン)を競技場所とする。助走距離は15m以内とする。

2) ジャベリックボールは競技場で準備されたものを使用する。

3) 競技場に準備してある炭酸マグネシウムをボール先端につけて(落下地点に痕跡を残すため)、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。

※羽だけを持って投げることは禁止する。

4) 全員2回の試技とし、試技順に1投ずつ行い、全員が1回目の試技を終えたら、2回目の試技にうつることとする。

11. コンバインド競技

① 本大会におけるコンバインド競技は次の順序で行う。

コンバインド A(男子)：走高跳、80mハードル

コンバインド B(男子)：走幅跳、ジャベリックボール投

コンバインド A(女子)：80mハードル、走高跳

コンバインド B(女子)：ジャベリックボール投、走幅跳

② 各種目の得点は、『小学生コンバインド種目得点表(2022年度改定)』による。得点は男女共通とする。

※『小学生コンバインド種目得点表(2022年度改定)』は日本陸上競技連盟(日本陸連)公式サイトにて公開している。

③ 80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。

④ スタートまたは試技を行い、途中棄権(DNF)、記録無し(NM)、失格(DQ)および参考記録(80mハードルにおいて不正スタートとなりオープン参加時の記録)の場合、得点は0点とする。

⑤ 1種目目に出場し、途中棄権(DNF)、記録無し(NM)、失格(DQ)、参考記録の場合、2種目目の出場は可能とする。

⑥ 1種目目で欠場した(スタートまたは試技を行わない)競技者は、2種目目には出場できない。

⑦ 1種目目または2種目目のいずれか、または両方において、途中棄権(DNF)、記録無し(NM)、失格(DQ)、参考記録の場合、2種目の合計得点は、コンバインド得点として認められる。

⑧ 2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が高点の場合は、同順位とする。

12. 記録・番組編成結果の発表

① 大型映像および大会ページ(日本陸連公式サイト内)に掲載する。

大会ページ <https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1878/>

② 100m、4×100mリレー決勝の番組編成結果については、①と同様とする。



13. トラック競技参加者の競技終了後の誘導と荷物の運搬について

1) 100m予選・決勝(A・B・C)・友好レース・80mハードル(コンバインドA)・4×100mリレー予選・決勝(A・B・C)は、荷物の運搬を実施する。レース終了後、ミックスゾーンを通過し、PECRで荷物を持ち、大会関係者が競技者を誘導し、退場する。

※コンバインド種目がフィールド種目の場合、競技終了後、大会関係者が競技者をコンバインド控室へ誘導する。

2) 友好レースに出場する選手は、後述「18. その他②」の通り、競技終了後、選手団エリアに戻らずにフレンドシップパーティーの参加となるため、大会関係者の誘導に従って行動し、選手団に合流する。

14. 入賞者（8位まで）の誘導について

- ① 友好レースを除く各種目 8 位までの入賞者は、大会関係者が入賞者待機場所へ誘導する。
- ② コンバインド（A・B）は 2 種目終了後、コンバインド控室で待機し、8 位までの入賞者確定後、8 位までの入賞者は大会関係者が誘導し、ミックゾーンを通過し、入賞者待機場所へ移動する。それ以外の競技者はそこで解散とする。

※男子コンバインドAについては、レース終了後、ミックゾーンを通過し、PECRで荷物を受け取り待機する。そして、8位までの入賞者確定後、8位までの入賞者は大会関係者が入賞者待機場所へ誘導する。それ以外の競技者は大会関係者が競技者を誘導し、退場する。

- ③ 表彰式終了後は「4. 表彰について④」の通りの運用となる。

15. 抗議について

100m、コンバインドA・Bの招集所横に「抗議受付(TIC)」を設置する。受付後は競技役員の指示に従い、「抗議者控室」に待機する。

抗議は、予選では結果の正式発表後(大型映像に正式結果が掲載された時刻を基準とする)15分以内、その他は結果の正式発表後30分以内に行わなければならない。

16. 事故防止と練習場の利用について

練習については、別紙「練習場の利用について」、「練習会場利用の注意事項」に示す。練習は、指定された場所・時間に競技役員の指示に従って行い、「事故防止」に万全を期す。

指導者は各エリアに立ち合い、安全管理を徹底するとともに他の指導者とも連携し、お互いに活動がしやすいよう配慮に努める。

雨天時についても上記練習場所から変更はせず、記載通りの場所で練習を行う。

但し、荒天の場合は、中断、または運用を変更する場合がある。その際、主催者の指示に従うこと。

17. ケガ等への対応

- ① 救護については競技場内の医務室を使用する。応急処置は大会本部で行うが、以後、保険適応外の責任は負わない。
- ② 監督・コーチ（支援コーチは除く）、競技者は国内旅行傷害保険に加入する。

18. 競技場内への入場と、写真・ビデオ等の撮影について

- ① 関係者の識別及び盗撮防止措置として、本大会主催者より各選手団に 40 本（21 日、22 日の両日）のリストバンドを配付する。

9 月 21 日（大会前日）は選手団（AD カード着用）およびリストバンドをつけている者のみ、競技場内への入場を可能とする。なお、選手団以外は、観客席のみのアクセスを可とする。

9 月 22 日（大会当日）はリストバンドをつけていない者の撮影は禁止とする。

※リストバンドは必ず腕に着用すること。

- ② リストバンドが確認できない場合や、リストバンドの有無に関わらず不適切な行動や撮影が認められた場合には、警備員もしくは大会関係者によりお声掛けする場合がある。

③ 競技場内へは、迷惑撮影防止の観点から、望遠レンズの持ち込みは禁止とする。

19. その他

① 開会式は、ウォーミングアップ中の競技者と指導者を除く選手団（競技者・指導者）が参加する（3.に記載の通り）。

② フレンドシップパーティーは選手団全員が大会記念 T シャツを着用し、参加する。選手及び監督・指導者・支援コーチの内 2 名は 17 時までに応援エリアへ移動をする。

・友好レース 100mに出場する選手は、競技終了後、選手団エリアに戻らず、フレンドシップパーティーに参加するため、競技用具とともにフレンドシップパーティーで着用する記念 T シャツを持参して招集所へ集合する。

・友好レース 100mに出場する選手は、競技終了後、大会関係者によりメインスタンド下、選手団応援エリアへの誘導を行う。フレンドシップパーティー中は主催者にて荷物置き場を用意するので、必要に応じて利用する。

③ 横断幕は 1 階観客席の各都道府県に割り当てられた席の後ろで、指定された柵のみに掲出を認める。

※個人や所属クラブ等の横断幕及びのぼり幟の掲出は禁止とする。

④ 1 階観客席及び車いす観覧席に、各都道府県の控え場所を割り当てる。上記「③」を除いて、控え場所には、テント等、障害物となるものの設置や、壁面・柱・柵への掲出物は、いかなる用途・サイズであっても不可とする。また、9 月 21 日（大会前日）の練習終了後から 9 月 22 日（大会当日）の退場時まで、各都道府県に割り当てられた控え場所に貴重品を除く荷物を置いておくことができる。

※飛散対策・紛失等の責任は各自の責任の下でおこなう。

※指定されたエリア以外に、荷物等がはみ出さないよう注意すること。

⑤ 9 位以下（B・C 決勝、およびコンバインド 24 位まで）の賞状・記録証、リザルトについては翌日の朝食の際に各選手団のテーブルに配布する。

⑥ 競技場（主競技場、東京体育館陸上競技場）のトラックおよびフィールドには水・お茶およびスポーツドリンク以外の飲食物の持ち込みは禁止する。

⑦ ゴミは各自持ち帰りを原則とする。

⑧ 熱中症に十分に注意すること。

⑨ 本注意事項のうち、各項目とも天候や運営の都合上、変更になる場合がある。

※変更が生じる場合、大会本部より連絡をする。